



 NIIGATA

Culture Book

はじめに

研究開発の世界は、今まさに大きく変わろうとしています。
エネルギー転換、脱炭素、資源循環、材料革新。
これまで“専門家だけが扱う領域”だった技術が、
国家レベル、社会レベルで急速に求められる時代になりました。

世の中の技術は高速で進化し、社会課題も複雑さを増しています。
こうした時代に、研究者が未来を切り拓くためには、
専門性と創造力を支える“裏方の力”が欠かせません。

ニイガタが進んでいる領域は、
単なる“技術屋”でも“製造会社”でもありません。

私たちの役割は、
研究開発そのものを前に進める、
世界にとってなくてはならない **インフラ** になること。

「自分の成長が未来に必要とされている」と実感できる世界の、
その輪郭を示すのが、このカルチャーブックです。



なぜ今、カルチャーブックが必要なのか

それは、会社がこれから迎える10年が、過去とはまったく違う景色を見せるからです。

これまでの積み重ねだけでは、未来のニイガタはつくれません。

事業領域はより高難度へ
関わる研究分野は多様化し
海外との協働は当たり前になり
技術の境界はどんどん溶けていく

そんな未来へ向かうために、社員一人ひとりが
「私たちはどんな会社になろうとしているのか」
「未来のニイガタはどんな景色なのか」
を理解していることが欠かせません。

カルチャーブックは、その未来を**言語化し**、
全員で共有するための**“未来地図”**です。



これから一緒に、
未来を描いていく

このINTRODUCTIONは、
この旅を進める最初の一步です。

ここから続く章では、

- 研究開発の未来がどう変わるか
- なぜニイガタが必要なのか
- ニイガタが2030年に目指す姿
- そこで働く人はどんな未来を歩むのか

これらを順番に描いていきます。

未来のニイガタには、
あなたの成長が必要です。
あなたの挑戦が必要です。
あなたの存在が必要です。

さあ、この未来の物語を、
一緒に創っていきましょう。

TOWARDS THE 100th VISION

2025 PHASE1

お客様が研究開発に専念でき、成果を上げられる、研究開発におけるサポートサービスの確立

2030 PHASE2

日本国内の研究開発において不可欠な存在になる

2040 PHASE3

海外からニイガタに研究開発サポートサービスを求めて開発案件が集まる

20XX PHASE4

世界中の研究開発において不可欠な存在になる

VISION

01 Our Story

どこから来て、どこへ向かうのか

ニイガタの歩みは、決して平坦な道ではありませんでした。

工業彫刻業、加工業、器具・治具設計・製造業としての歴史を持ちながら、変化が激しい市場の中で、何度も立ち止まり、考え、転換を繰り返してきました。

しかし、振り返れば一つだけ変わらないものがあります。

それは、「人の役に立ちたい」という想いでした。

お客様が必要としていることは何か。

その期待にどう応えるか。

そして、どうすればもっと良い未来をつくれるのか。

小さな工夫や改善を積み重ね、一つの課題を解決するたびに、また一步、未来へ近づいてきました。



変わり続けたからこそ、今がある

製造業から、研究開発サービス業へ

社会の変化は、時に企業の“存在意義”を問い直します。
ニイガタはコロナ後のある時期から疑問に向き合いました。

「私たちは、本当にお客様の“目的”のために動いているだろうか？」

お客様が本当に求めているのは、「製品」ではなく、
その先にある **研究の成功・開発の前進・未来の実現ではないか。**

製造という手段が必要な時があれば、設計が必要な時もあり、
試作が必要な時期もある。

しかし、それらはすべて“手段”であり、
お客様の最終目的ではありません。
この気付きこそが、
今日のニイガタをつくった“決定的な転換点”といえます。

研究開発者の近くに立つという選択

研究開発の世界は、誰よりも不確実性が高い領域です。
一つの実験に何年、何ヵ月もかかることがある。

試行錯誤を何度も繰り返す研究者
やってみないと分からない
作ってみないと見えない世界
その大変さを、誰がそばで支えるのか
その苦しさや喜びを、誰が理解できるのか

そこで私たちは
「研究開発者のパートナーになる」という道を選びました。

単に依頼を受けて作るのではなく、研究者の背景や目的に寄り添い、
ともに課題を紐解き、解決へ導く。
このスタンスが、ニイガタが現在の形へ進化する出発点でした。

02 The Future We Create

ニイガタが描く未来

2030年、研究開発は新しい段階へ進むと言われています。
技術が融合し、国や業界の境界が溶け、
世界中の研究者がオンラインでつながりながら“高速で価値をつくる時代”が到来します。

ニイガタが目指すのは、

「研究開発者が成果に集中できる環境をつくること」

「研究のスピード」が競争力を決める

2030年には、「研究スピードを上げられない企業は研究から振り落とされる」ようになり、
研究者は、これまで以上に時間を奪う作業・煩雑さ・段取り・調整を避けたいと考えるようになります。

つまり、研究開発者の“時間価値”は今よりもっと重くなります。

ニイガタの存在によって研究や開発が前に進む世界。

それが、私たちの本当の価値です。



世界中で「研究開発のインフラ」が求められる

この未来の中で、最も深刻な問題は「研究者の仕事量の増加と人材不足」です。分野が融合し、難易度が増し、速度が求められる。しかし研究者の数は容易に増えません。私たちが名乗っている「研究開発サービス」というのは製造以外のサービスも請け負う“今の役割”という意味です。

私たちの進化系：今後、未来の研究をさせる新たな概念

R&D Infrastructure — 研究開発のインフラ

これは、

- ✓ 研究者の時間を取り戻す
- ✓ 研究プロセスを高速化する
- ✓ 分野融合を支援する
- ✓ 実験環境を最適化する
- ✓ 技術知識を補完する
- ✓ 試作・設計・調整を肩代わりする

という存在のことです。

ニイガタの未来の姿と完全に重なっている領域です。

「研究開発のインフラ」という未来は、「ニイガタのためにある未来」ではなく、「ニイガタが必要とされる未来」という意味になります。



03 Why We Exist

私たちはなぜ存在するのか

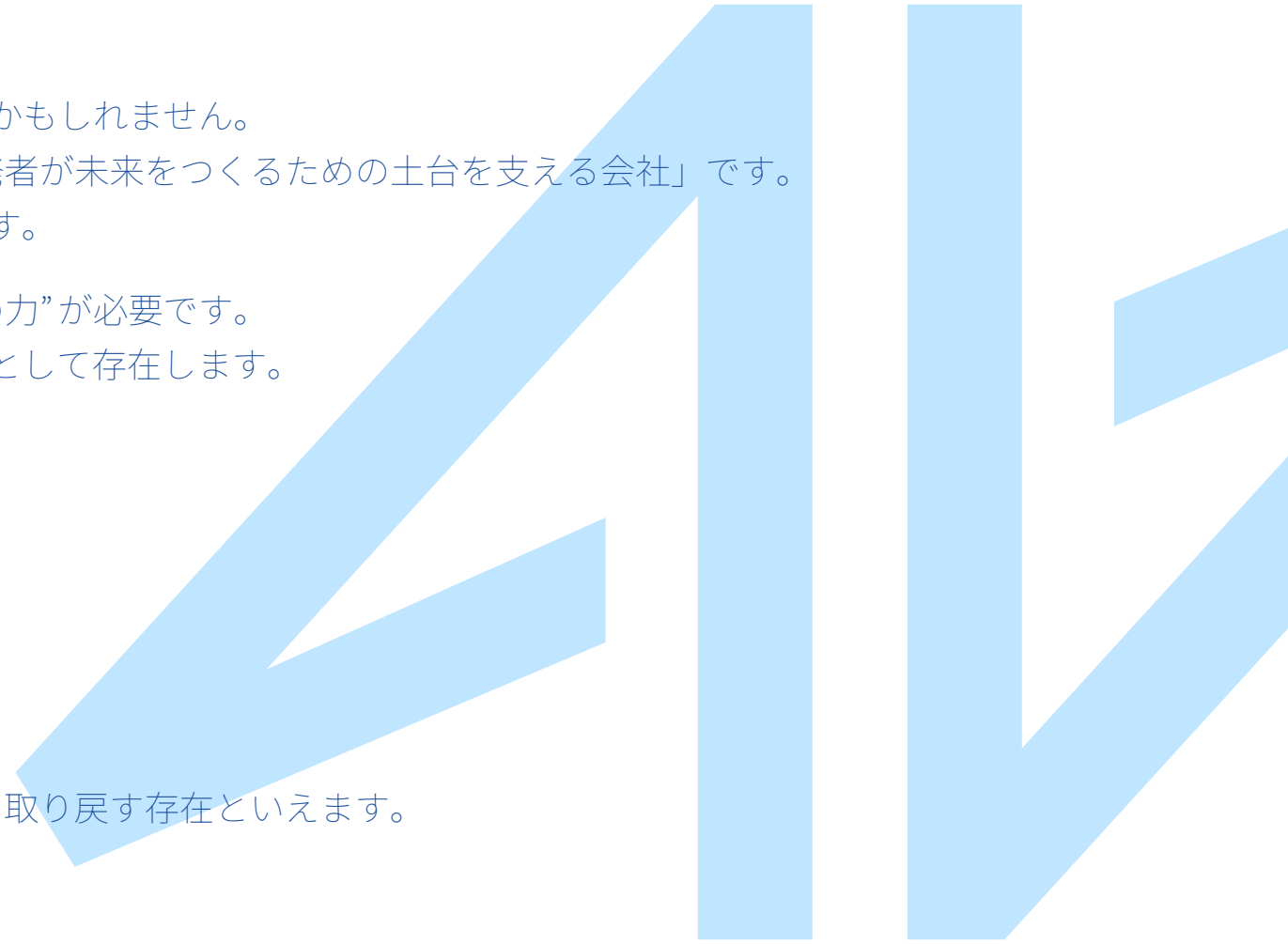
私たちニイガタは、“モノをつくる会社”と見られることが多いかもしれません。

しかし、私たちが果たしている役割を正確に言えば、「研究開発者が未来をつくるための土台を支える会社」です。なぜなら、研究開発者は、社会課題そのものに向き合っています。

そして、研究開発者が未来を切り拓く時、そこには必ず“裏方の力”が必要です。私たちニイガタは、「研究開発者が前へ進むためのインフラ」として存在します。

研究開発者が迷ったとき、
行き詰まったとき、
もっと速く動きたいとき、
もっと深く探求したいとき、
私たちが支えることで、未来は動き始めます。

私たちニイガタは、研究開発に携わるすべての人が、
「本当にやりたい研究に集中できる環境」をつくるために時間を取り戻す存在といえます。



ニイガタは未来のために存在している

研究者の「パートナー」として存在する

研究開発の営みは、孤独で、困難で、予測不可能です。
実験がうまくいかない日もある。
答えが出ない夜もある。
やり直しが続くこともある。

そんな時、研究開発者のそばに立ち、
技術と理解の両面で支え続ける存在が必要です。

私たちは単なる外部委託者ではなく、
研究開発者のパートナーです。

- ✓ 研究の背景を理解する
- ✓ 課題の本質を掘り下げる
- ✓ 実験の意図を読み解く
- ✓ 成果につながる設計を考える

これらができるのは、“ニイガタのような存在”しかありません。

未来のために存在する会社である

最も大切なことを明確にします。
ニイガタの存在意義は、過去の延長線で語るものではありません。
私たちの存在意義は、未来が必要としているから存在するものです。

2030年、
世界の研究開発はインフラ支援なしでは成立しなくなります。

研究開発者は不足し、
研究は複雑化し、
速度が要求され、
分野は融合し、
国境は消え、
社会課題は重くなる。

この未来の構造の中で、研究開発を支える存在は欠かせない。
だからこそ、ニイガタは未来のために存在している。

04 Toward the Heart of R&D

研究開発の中心へ

世界の研究者が “ニイガタに依頼したい”と思う未来をつくる

研究開発の未来はグローバル化が進みます。
海外の研究者が日本での実験環境や支援体制を求める日が来る。

そのとき問われるのは「研究開発者を支えるインフラの質」です。

未来のニイガタは、
世界の研究者が日本へ集まる理由の一つになります。

- ✓ 相談すれば必ず前に進む
- ✓ 実験が高速で回る
- ✓ 多分野の知識が集まる
- ✓ 研究開発環境が整っている

こうした価値を提供できる会社になります。

価値共創は特別な取り組みではなく、ニイガタの標準行動になります。

ニイガタの技術者は“研究理解力”を持つ プロフェッショナルになる

未来のニイガタでは、
全社員が“研究理解力”を備えた人材へ進化します。

研究理解力とは、「専門知識がある」という意味ではなく、

- ✓ 研究の目的をつかむ
- ✓ 課題の本質を理解する
- ✓ 背景や制約を読み解く
- ✓ 研究者の思考に寄り添う
- ✓ 最短距離で成果に向かう提案ができる

という“研究開発者の伴走”としての力です。

未来のニイガタは、この力を武器にする組織になります。

一人ひとりの成長こそが未来の価値

情報が透明で 学習速度が圧倒的に速い組織になる

未来のニイガタの姿はこうです

- ✓ 情報は隠さない
- ✓ 失敗はすぐ共有される
- ✓ 学習は組織全体に広がる
- ✓ 改善は翌日には反映される
- ✓ 社内の壁は限りなく薄い

これにより、
研究者を支える速度が圧倒的に高くなります。

ここに、研究開発インフラ企業としての強さが宿ります。

社員の成長が、 会社の未来そのものになる

「社員の成長が、そのままニイガタの競争力になる」
理由はシンプルです。

- ✓ 研究開発者を支えるインフラは“人”が担う
- ✓ 研究理解力は人の学習からしか生まれない
- ✓ 技術の融合には人の柔軟性が必要になる
- ✓ スピードは人の判断力に依存する
- ✓ 多分野の橋渡しは人が行う

つまり、
社員一人ひとりの成長こそが未来の価値です。

ニイガタにとって全従業員は“戦力”ではなく、“未来そのもの”といえます。

05 Beliefs We Need for the Future

未来に必要な“信じるもの”

未来の研究開発は、これまでの延長では決して語れない世界になります。
複雑で、不確実で、スピードが要求され、国境や分野の境界が溶けていく。
その未来へ向かうために、ニイガタが揺るがずに信じるべき“世界の見方”はValue（行動）ではなく、Belief（信念・思想）です。

誠実さはどんな技術より強い“未来へパスポート” 人が成長し続ける組織だけが、未来をつくる

未来の研究開発は、速度も複雑性も増し、
関わる人も組織も多様になります。

そんな時代だからこそ、
誠実さがメンバーとしての最大の価値になります。

- ✓ 嘘をつかない
- ✓ 不具合を隠さず共有する
- ✓ 失敗を隠さない
- ✓ 誤魔化さない
- ✓ 背景まで正確に伝える
- ✓ 人としての品格を大切にする

これは「良いことをしましょう」という話ではなく、
未来の研究開発において本当に必要な“条件”です。

未来の研究開発支援は、設備やシステムだけでは実現できません。
必要なのは、“人の成長”です。

- ✓ 技術を学ぶ力
- ✓ 思考を深める力
- ✓ 境界を越える柔軟性
- ✓ 研究背景を理解する力
- ✓ 関係性を築く力
- ✓ 未来を信じる意志

これらはすべて、人が育てていくものです。

ニイガタは、“**人の成長が会社の成長を上回る状態**”を
未来の理想として信じています。



研究開発のインフラは
「知の高速道路」である



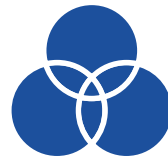
正確な技術と誠実な仕事は、
世界に通用する武器になる



会社の成長よりも、成長し続ける人が、
未来をつくり出せる人になる



研究開発者は社会課題を
解決するプレイヤーであり、
私たちはそのパートナーである



分野の壁を越えて
価値が生まれる時代は、
技術の境界は消え、融合が価値を生む

06 How We Work 2030

未来の働き方のスタイル

営業は研究の意図を理解し、技術者は研究者の仮説を読み取り、バックオフィスは研究の速度感に合わせて柔軟に動く。これは「高度化」ではなく未来のニイガタでは“当たり前”になる働き方になります。

働く人に“No.1の成長実感”がある組織へ

「人の成長によって、働き方が進化し続ける会社」です。

2030年のニイガタの社員は、こう感じています。

「今までで一番、成長している」

「この会社にいると、未来が広がる」

「研究者の役に立てている実感がある」

「この仕事は、社会の未来に直結している」

成長の実感と、未来への希望が両方ある働き方。

これこそが、

“未来のニイガタらしい働き方”です。

社員の成長が、働き方を進化させ続ける

未来のニイガタの働き方は、社員の成長と切り離せません。

新しい技術を学び

新しい分野を理解し

新しいチームをつくり

新しい未来を思い描く

社員の成長が会社の成長へつながる

「変わることが早い」ではなく

「変わり続けることが普通」な組織へ。

働き方の高度化＝会社の未来の進化につながります。



拠点や国境を超えて
研究者とつながる日常を
オンラインで海外研究機関とつながり、
プロジェクトが進む。



ホラクラシーが成熟し、
役割より“成果”で動く
組織上の立場ではなく、
能力と意思が中心になる。



情報はすべてオープンで、
学習の速度が爆速になる
失敗は隠さず共有し、
進化の材料にする。



自由と
責任と
報酬



社員の成長が、
そのまま会社の競争力になる
学び続ける姿勢が、組織の柱となる。



技術者も営業も、研究の背景を
正しく理解している
「技術ができる人」ではなく
「研究を理解する人」に進化する。

07 Who We Aim to Become

ニイガタ人としての未来像

1. “分からない”を恐れず、学び続けられる人

研究開発は、分からないことだらけの世界です。

未来のニイガタでは、

「分からない」を学びのスタートラインだと

考える人が活躍します。

新しい分野にも飛び込む

他人の知識を素直に吸収する

間違いを隠さず、改善につなげる

わからない瞬間を成長の機会にする

成長を喜べる人が、未来をつくります。

2. 専門よりも“本質”を見ることができる人

未来の研究支援は、専門知識だけでは追いつきません。

必要なのは“本質を見抜く力”です。

依頼の言葉より → 背景を理解する

技術より → 目的を見る

手段よりも → 成果を見る

自分の専門に閉じず → 横断的に考える

本質を見抜ける人は、

分野の境界が溶ける未来に強い人材です。

07 Who We Aim to Become

ニイガタ人としての未来像

3. 誠実さを何より大切にする人

未来の研究開発は、多様な組織と人が関わる複雑な世界です。

その中で最も強いのは、**誠実な人**です。

- ✓ 嘘をつかない
- ✓ 誤魔化さない
- ✓ 自分に都合よく情報を隠さない
- ✓ 研究開発者の努力に敬意を払う

誠実さは、技術や知識よりも最も価値がある。

それを理解して行動できる人が、

未来のニイガタ人の何よりの資質です。

4. “共創”を自然に選べる人

未来のニイガタは共創が前提の会社です。

だからこそ、**自分のことだけではなく、**

相手と一緒に未来をつくれる人が必要です。

- ✓ 研究開発者の味方になれる
- ✓ 仲間の成功を素直に喜べる
- ✓ チームで成果を生み出すことに価値を感じる
- ✓ 自分の役割を超えて相手を支えられる

共創は、未来の競争力です。

共創を選べる人は未来のニイガタに欠かせません。



世界の研究課題に臆せず挑む人
自分の領域を超えて飛び込む勇気を持つ人

専門性と人間性の両立を目指せる人
技術力が高いだけでなく、誠実に、正しく、謙虚にできる人

自分の成長が会社の成長に直結すると信じられる人
「会社が自分を大事にしてくれている」その実感を持てる人

分からないことを隠さず、学ぶ意欲を持ち続ける人
未知を恐れず、明日を肯定できる人

研究者の未来を信じられる人
お客様の挑戦と夢を心から応援できる人

未来を信じ、希望を持って進める人

ニイガタで働くうえで大切な未来像を置きます。

未来のニイガタは
希望を持って働ける人が必要です。

「自分をもっと成長できる」と思える
「この会社で未来をつくりたい」と感じられる
「研究者の役に立てることが誇り」と言える
「明日はもっと良い仕事ができる」と信じられる

未来を疑う人ではなく、未来は信じる人がつくるものです。
ニイガタは、そういう人の集まりでありたい。



08 Invitation to the Future

未来への招待状

あなたの成長が未来のニイガタをつくります。ニイガタが目指す未来は、巨大な設備によって、誰か一部の人間や過去の延長によってつくられるものではありません。未来のニイガタを形づくる原動力は、あなたの誠実さであり、あなたの学びであり、あなたの挑戦であり、あなたの成長です。

研究開発者を支える力は、あなたの手の中にあります。ひとつ理解が深まるたび、ひとつ技術が身につくたび、ひとつ新しい挑戦に踏み出すたび、それらはすべて、未来の研究を前に進める力になります。あなた自身の成長が、この会社の未来価値そのものです。

研究開発は未来を加速させる営みです。ニイガタはその加速を支えるインフラになります。だから未来は、突然遠くからやってくるのではなく、あなたが日々の仕事を通じて近づけているものです。今日のあなたの判断も、今日のあなたの学びも、今日のあなたの工夫も、すべてが未来につながっています。

未来は“いつか訪れるもの”ではなく、“今、あなたがつくっているもの”です。

未来は壮大で、大きくて、遠く感じるかもしれませんが。でも未来をつくるのは、大きな決断ではなく、今日の小さな前進の積み重ねです。ニイガタの未来に必要なのは、特別な才能ではなく、あなたが持っているその姿勢と人間性です。

一緒に 未来をつくろう

未来のニイガタは、
研究開発者の挑戦を支えるインフラになる。

日本の研究開発の中心に立つ。

そして世界の研究開発者から
信頼される存在になる。

その未来は、あなたがいて初めて実現する。
あなたと一緒に、研究開発の未来をつくりたい。

未来は、
あなたの成長を待っている。

そしてニイガタは、
あなたの挑戦を待っています。